

【広島市の消費者物価指数】平成 22 年=100

1 平成 28 年 1 月の動向

- (1) **総合指数**(103.5)は前月比で4か月連続の下落。
前年同月比は**31か月連続の上昇**。
- (2) **生鮮食品を除く総合指数**(102.9)は前月比で3か月連続の下落。
前年同月比は**31か月連続の上昇**。
- (3) **食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数**(100.9)は前月比で3か月連続の下落。
前年同月比は**28か月連続の上昇**。

図1 総合指数の推移

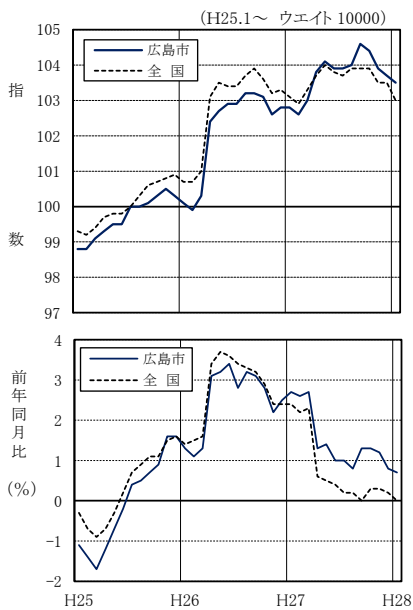


図2 生鮮食品を除く総合指数の推移

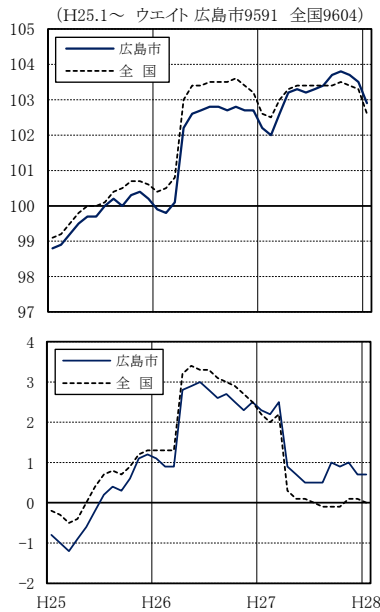
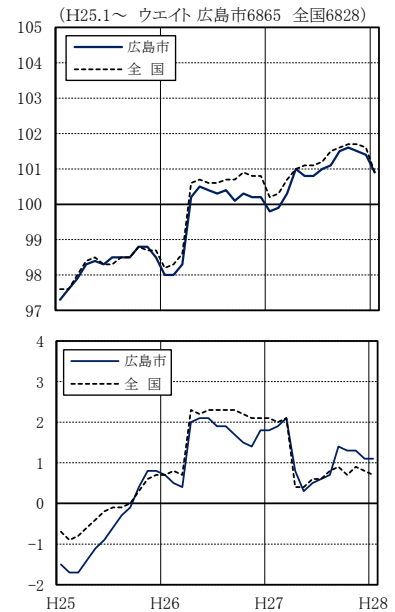


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.5	▲0.2	0.7
生鮮食品を除く総合指数	102.9	▲0.5	0.7
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数	100.9	▲0.5	1.1

3 前月からの動き

～食料は上昇, 被服及び履物は下落。～

(1) 10大費目指数の前月比及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	103.5	110.3	99.1	107.3	95.8	104.3	100.8	100.6	99.5	98.4	109.2
前月比 (%)	▲0.2	1.1	▲0.1	▲0.4	2.7	▲5.2	▲0.4	▲0.8	0.0	▲1.1	▲0.3
寄与度	▲0.2	0.29	▲0.01	▲0.03	0.10	▲0.25	▲0.02	▲0.11	0.00	▲0.12	▲0.02

(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に, 各費目がどれだけ影響したかを示したもの。
本来, 寄与度の合計は, 総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが, 四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数の前月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
果物	0.19	洋服(婦人コート 等)	▲0.18
野菜・海藻(トマト 等)	0.16	教養娯楽サービス(外国パック旅行 等)	▲0.13
家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	0.09	自動車等関係費(ガソリン)	▲0.09
教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	0.04	シャツ・セーター類(婦人セーター[長袖] 等)	▲0.06
家事雑貨(電球・蛍光灯等 等)	0.02	魚介類(えび 等)	▲0.04

4 前年同月との比較

～食料及び教養娯楽は上昇，光熱・水道及び交通・通信は下落。～

(1) 10 大費目の前年同月比及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.7	2.6	▲0.4	▲5.0	2.8	5.3	0.8	▲1.9	1.3	3.0	0.1
寄与度	0.7	0.68	▲0.07	▲0.41	0.10	0.23	0.03	▲0.25	0.04	0.32	0.01

(2) 総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	0.25	自動車等関係費(ガソリン 等)	▲0.28
菓子類(ケーキ 等)	0.18	ガス代(都市ガス代 等)	▲0.18
調理食品(すし(弁当) 等)	0.18	電気代(電気代)	▲0.18
洋服(婦人上着 等)	0.11	他の光熱(灯油)	▲0.06
家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	0.10	家賃(持家の帰属家賃 等)	▲0.06

図4 総合指数の前年同月比及び10大費目別寄与度の推移

